

大会企画

大会企画3

医療情報技師に期待すること－医育機関の医療情報部教授／部長の立場から－

2018年11月23日(金) 16:00 ～ 18:00 F会場 (5F 502+503)

[2-F-3-1] 医療情報技師に期待すること－医育機関の医療情報部教授／部長の立場から－

○中川 肇（富山大学附属病院医療情報部）

医療情報学会では、医療情報技師育成のコアコンピテンシーを策定している。Health Care、Information Technology、Health Information Systemsの3つである。このセッションでは、著者は大学病院の医療情報部教授・部長という立場から先に挙げた3つのコンピテンシーに基づき、技師は前述の3分野でどのように活躍することが期待されるのか詳細に述べる。

Information Technologyに関しては、単なるルーチン業務ではなく、HISのみならずネットワーク、データベース、セキュリティに関して新しいアイデアを積極的に提案することで医療情報分野で指導者としてリードしていくことを期待している。

Health Careに関しては医療・福祉・介護分野の最新知識を吸収するとともに、ヒト、モノ、情報の流れと医療のプロセスを理解することが望まれる。さらに、カルテを理解する能力に基づき医療安全と病院経営改善に資する改善策を提言することを期待している。そのためには多くのデータが入力され分析することが必要である。

Health Information Systemに関しては、最も重要なコンピテンシーと考えている。医療の特殊性を理解し、情報セキュリティについて一層強固にすることを期待している。さらに、医療情報技師は全国レベル、地域レベルでのさまざまなプロジェクトに積極的に関与をしていただきたい。例えば医療分野における標準化のためのマスタ整理（例、JLAC10、HOTコードなど）などにも関与して欲しい。また、地域医療連携システムでは他の地域のクリニックでの設定にも関与して欲しい。

医療情報技師に期待すること

－ 医育機関の医療情報部教授／部長の立場から －

中川 肇^{*1}、

^{*1} 富山大学附属病院医療情報部

What is expected of HITs (Healthcare Information Technologists)? As a medical school hospital professor/director of Medical Informatics

Hajime Nakagawa^{*1}

^{*1} Toyama University Hospital

The Japan Association of Medical Information (JAMI) formulated core competencies for HITs in Information Technology, Health Care, and Health Information Systems. In this session, the expectations of HITs in relation to the above-mentioned three competencies are described in detail from the viewpoint of a director/professor of a university hospital.

First, in addition to their routine information technology tasks, HITs are requested to be leaders in proposing new ideas for network, database, and security systems along with maintaining Hospital Information Systems. Second, HITs need to absorb the latest knowledge on medical, welfare, and nursing care to fully understand the flow of patients and staff, information, and medical processes. Measures to improve medical safety and hospital management can be proposed based on the ability to read medical records, for which many data need to be input and analyzed. Third, the most important competency seems to be understanding the specific circumstances of medical care to further strengthen information security. Thus, HITs should actively participate in projects at national or regional levels such as in expert standardization of medical fields (e.g., JAC10 and HOT codes) and in regional network systems for cooperative medical treatment meant to help other local clinics.

Keywords: HITs, competency, security, cooperation of local health care, standardization

1. はじめに

2003 年に医療情報技師制度が始まって以来、昨年までに 20380 人が認定されて活躍している。この医療情報技師（以下、技師）のコアコンピテンシーは Health Care, Information Technology, Health Information Systems の 3 領域とされて Web 上に公開されている¹⁾ (図1)。著者は大学病院の医療情報部長として、長年、技師の採用と処遇改善を訴えてきた。この経験をもとに技師にはどのような活躍が期待されるのか、3 つのコアコンピテンシーに沿って詳細に述べる。

2-1. 病院における活動とコアコンピテンシー

Information Technology (IT) に関しては、大学病院をはじめ多くの病院では、ネットワークを含めて、HIS の保守運用に関与している技師が多いと思われる。単なるルーチン業務ではなく、その経験を通して IT に関する業務改善に関する新しいアイデアを提案するなど、保守運用のリーダとなること、また、積極的に仕様策定に意見を述べて関与することが期待される。また、多くの病院では、HIS と接続する部門システムの調達時期を異にする場合が多い。例えば、部門端末がいわゆる“レガシー端末”である WindowsXP 端末が接続されている場合、サポートやウイルス対策をどうするかなどについて技師としてアドバイスするなど望ましい。換言すれば IT の導入が BPR (Business Process Reengineering) となることを示してほしい。

Health Care に関しては医療・福祉・介護分野の最新知識を常にアンテナを高くて吸収することが望まれる。多職種による知識集約型産業である医療現場ではヒト、モノ、情報の流れと医療のプロセスを理解しないと現場のスタッフとのスムーズな会話は難しいと思われる。また、彼らに法令やガイドラインの改正や改定を説明することが必要である。さもないと、HIS と整合性の取れない運用が危惧される。さらに、カルテの書き方を理解してカルテを読みこなし、医師の診療意思決定プロセスを理解することが必要であり、臨床統計の出力とその分析に関与が望まれる。それらのデータをもとに業務改善は

当然のこと、医療安全、病院経営改善、診療意思決定支援に資する HIS の改善策を提言することを期待している。

Health Information System に関しては、医療のみならず福祉・介護の特殊性を理解し、情報セキュリティについての管理や改善策の提言を期待している。一方で、病院では、システムの改修要望が上がることは常であるが、「合理的なもの」「思いつきの発想」なもの、システムを理解した上での意見とそうでないものが混在しているため、その判断能力と説明能力も必要である。また、積極的に地域連携医療システムに関与をしていただきたい。本院では、参加希望の全診療所を部長である私が訪問して、設定してきたが、今後は技師として運営に関与することを期待している。さらに、標準化のためのマスタ整理などにも関与して欲しい。国・学会レベルのデータ集積と地域連携医療には標準化は必須である。標準化されて初めて集積されたビッグデータ解析により新たな知見が生じることを理解していただきたい。そしてその担い手の大部分は技師であると推測される。

2-2. 技師と医療情報部との理想像について

技師は、病院にあっては事務職に近い立場で業務に従事している。図1には著者が理想型と考える組織像を示した。医療情報部長は医療 CISO (Chief Information Security Office) として CIO である病院長を補佐し、システムを統括し、技師・教員・事務職が一体化して医療情報部長に指揮命令権のあるスタッフとして存在する。技師はルーチン業務のみならず、研究開発、医療連携にパラダイムシフトしていただきたい。また、対外的には、地域医療連携システムの運用支援、BCP、遠隔教育の支援を一体となつて行う組織が望ましい。例えば地域医療連携システムの設定は診療終了後の夜間に要望されることが殆どであり、医療情報部長が技師に直接、超勤を命じられる体制が必要である。

3. 医療情報技師のキャリアアップには？

育成部会のデータによると約3割強が医療保健福祉機関と

教育機関に勤務している(表1).

表1. 技師の所属別比率

所 属	総 数	比率(%)
保健医療福祉施設	5148	28.1
教育機関	997	5.2
企業	9976	51.8
行政機関	134	0.7
医師会	43	0.2
その他	2685	13.9

当院も本年4月から2名の技師を採用することができ良い傾向と考えている. 実務経験を積み上級にもチャレンジしていただきたい. あるいは, 医育機関の場合は, 論文を執筆すれば教育者としてのキャリアアップも可能である. 研究に興味ある場合は一考していただきたい. 技師には, 興味に応じて活かせる複数のキャリアパスが存在すると思われる. ただ, 著者は技師を嘗て国大に存在した「技官」相当の「技術職員」としての位置づけを訴えているが実現しておらず残念である.

Core Competency

The required knowledge and skills for the Healthcare Information Technologist are made up of the following three fields (Fig. 1):

- a) Information Technology
- b) Health Care
- c) Health Information Systems

The core competencies of the three fields are shown in Table 1. In addition to knowledge and skills, abilities of

Communication,
Collaboration, and
Coordination

are considered essential to a qualified Healthcare Information Technologist, and these are called “three C’s of Healthcare IT.”



Fig. 1 The required knowledge and skills

図1 JAMI が公表している3つのコンピテンシー

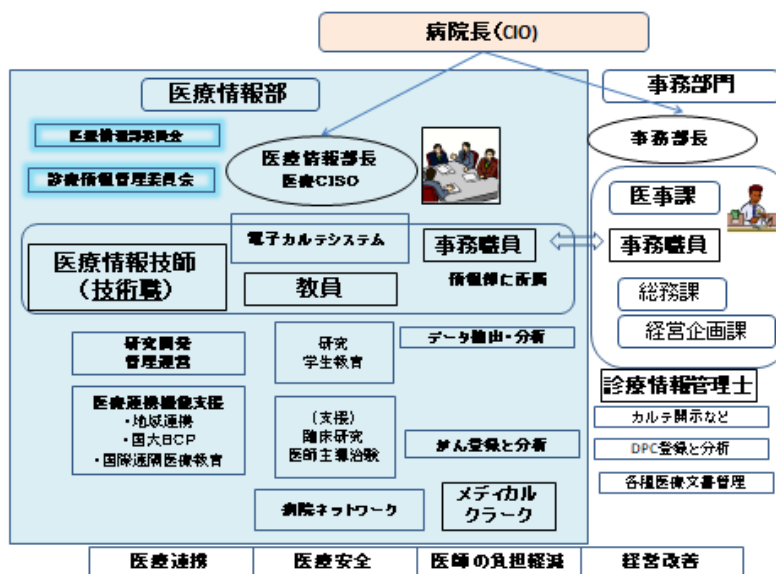


図2 著者が考える医療情報技師の配置と業務の理想像

医療情報部長は教員同様, 技師に比較的自由な自己研鑽活動の機会を与えるべきと考えていることが最大の理由である.

4.まとめ

これまでの医療情報技師育成への関与および技師の獲得をめぐる交渉等の経験をもとに, 病院勤務の技師に望まれることをコンピテンシーをドリルダウンして論じた. 本原稿執筆時の8月に AI 病院構想が新聞紙上に報じられた. 将来, 医療介護福祉分野に AI の導入は必至であり, 急速な環境の変化が生じるとみられる. その変化に研鑽を積み対応して欲しいと望んでいる.

参考文献

- 1)Health Information Technologist. Certified by Japan Association for Medical Informatics (JAMI)
<http://jami.jp/jadite/new/doc/pdf/090522HealthITOverview.pdf> (cited 2018-July23)